

外壁の塗装でアートを描いた絵が好きだった。絵装飾の世界に目覚めた。<デコラティブペイントの第一人者。現代の名工>の選定に、「大変な栄誉。重い責任を背負うことになるが、励みとして頑張りたい」と気を引き締める。祖父が大工の棟梁、父親がけた作りの職人の家で育

好きな美術 極めたい

描いた絵が好きだった。絵装飾の世界に目覚めた。英文の専門書を取り寄せて、後進の技術指導でも全国を飛び回っている。辞書を片手に専門技術を習得した。美大生のモダンアートを壁に描き、豊潤なルネサンス風の美術で街を彩る。会社経営の傍ら、な教科書を作りたい。そのために、美術の基礎を学んでおなくては」と話す。大学の課題で四十年ぶりに油絵の絵筆をとった。自然と心が沸き立つ。塗装と美術の融合に向かって、技術を極めるには「好きになること。仕事にのめり込むこと」と言葉を弾ませた。

塗装仕上工
木暮 実さん(57)
高崎市巾尾町



発泡スチロールを使ったデコラティブペイントに取り組む木暮さん

1959年、中ノ条町生まれ。職業訓練校卒業後、高崎市内の塗装会社勤務を経て独立。木暮塗装社長。県塗装看板協同組合理事長、装飾塗装技術を開拓し、日本塗装工業会技術委員会副委員長として専門技術を指導。建築施工管理技士、建築仕上診断技術高。

微量肺組織で石綿特定

イオン照射 精度高まる 患者の負担減期待

群馬大と日本原子力研究開発機構(原研)は十一日、肺の中にあるアスベスト(石綿)の種類や量を肺組織の微量な検体で特定する方法を開発したと発表した。イオン照射装置を使って検体内の石綿成分を画像に映して診断する方法が、現行よりも精度が高く、患者の体の負担軽減が期待される。同大は「石綿の早期発見と発症の予防につなげたい」としている。

実用化すれば患者の負担軽減につながる。今後、元素をどれだけ含めば石綿による病気と診断できるかなど(基準作り)を

同大医学部附属病院は二〇〇三年、石綿が原因とされる病気に専門的に対処する「上皮腫外来」を開設。診断が困難なケースがあることから、〇四年に原研との共同研究に着手した。

現代の名工

極める

進める。土橋邦夫教授は病気を引き起こすメカニズムを解明するため、肺の中の石綿の周囲のタンパク質を調べるといって研究を進めた」と話している。

矢内市長は特別職との減額合計は約五百四万円。

矢内市長は本会議後、「議員や市民に多し心配をかけた。議会の対応を重く受け止め、今後十万市民の福祉の増進を力していきたい」とすべんとを発表した。

計画上に反対してきた。赤城の国保診療所

2カ所を統合へ

赤城の国保診療所

特別職減給案や調停案など可決

観覧車問題
伊勢自動車
伊勢自動車

計画反対の「市民に説明を」

赤城の国保診療所